

たかす
サークル

前略 2021 鷹中生の皆さんへ



鷹中先輩からの メッセージ Gift

このパンフレットは、たかすサークルのメンバーなど、鷹栖中学校卒業の先輩（ちょっと年上のお兄さん、お姉さん世代）が、今取り組んでいることや将来の夢、中学校や高校のときに考えていたことなどを

振り返って、中学生の皆さんへのメッセージとしてまとめています。鷹中生の皆さんが、これから進路を考えるときに、何か少しでも役立つってくれるといいな、という思いを込めてつくりました。

【中学校のとき】

●好きな教科や部活動は何でしたか

▶勉強全般得意じゃなかったのですが、強いて言えば、社会の公民だと思います。

部活動は、吹奏楽部でクラリネットパートでした。

●どんなことに夢中でしたか？

▶当時、ニコニコ動画やYouTubeのゲーム実況にハマってました。なので、勉強を全然してなくて…めっちゃくちゃ後悔しています…

●中学校生活で印象に残っている出来事を教えてください

▶吹奏楽部のコンクール

リズム音痴でとても苦労しました…あと緊張しいなので、自分の音を出すことにめちゃくちゃビビってました（笑）

●中学生の頃に考えていた将来の夢や目標、進学や就職に向けて取り組んでいたことについて教えてください

▶特に将来の夢や目標はなかったです。ただ緊張しいで、あがり症の自分を克服するために、高校では変わろうと決意していました。農業高校の進学は99.9%が推薦で面接と小論文での入試を突破しなければ、合格しなかったの、面接と小論文はたくさん練習したと思います。

【高校】

●高校名

▶旭川農業高校 食品科学科

●どのような高校生活を送っていましたか？

▶週に2回は、製造の実習だったので、パウンドケーキを作ったり、パンを作ったり、アイスクリームを作ったりしていました。それらの商品を販売する活動もやっていました。また、全国の農業高校生全員が必ず所属する農業クラブの執行部を1年生の後期から3年生までやりました。（生徒会みたいな感じです。）3年生の時に農業クラブの会長になり、旭川農業高校の会長は北海道連盟の会長にもなるので、北海道各地の大会で挨拶したり、東京での会議に参加したりしていました。

●高校生活で印象に残っている出来事を教えてください

▶高2の秋、その日はちょうど自分の誕生日だったのですが、「道産食材使用コロッケアイディアコンテスト」というコンテストで、発表をして特別賞を頂けたことです。高2の時に、専攻班というそれぞれが専門としたい内容の班を選び、班で研究を進めていく課題研究という授業があるのですが、私が選んだのは微生物班で、規格外黒大豆を活用してコロッケを製造し、そのコンテストに出して、それが賞を受賞させていただいたのです。本当は大賞しか商品化されませんが、審査員の方が気に入ってくださり、商品化されました。コロナ禍などの影響で、販売は私が大学1年になった秋に行われましたが、数年越しでも販売まで結びついて良かったです。

あとは、このことをきっかけに、農業クラブ全国大会の意見発表大会に出場することができ、このコロッケコンテストの話から、将来の夢を見つけた話を書いて優秀賞を頂くことができました。さらに、この時に鷹栖町の広報のきらびとのコーナーに載せて頂きました！

【高校や大学生生活全般】

●何か将来を考えるきっかけ、人生の転換点となったような出来事や出会いはありますか

▶印象に残った出来事が私の将来を考えるきっかけになりました。コンテスト後、サンマルコ食品の藤井取締役に会って、そのまま会社に伺ったのですが、その時にマーケティングの考え方の話を聞いて、それが衝撃的でした。マーケットとターゲットが大事…その考えは今まで頭になくって、マーケティング面白い！と思ったきっかけでした。

藤井 実穂 さん

■平成29年3月卒業（20歳）

■帯広畜産大学 畜産学部 畜産科学課程
農業経済学ユニット2年

「たかすサークル」って何？

鷹栖町出身や鷹栖町にゆかりのある大学生世代が参加できる“オンライン”サークルです。コロナ禍をきっかけに実施した、鷹栖中出身の大学生同士のオンライン近況報告会で、「一緒に鷹栖町を盛り上げたい！」と、意気投合したメンバーが、2021年4月から活動を開始しました。

●なぜ、現在の大学を選んで進学しましたか

▶ 推薦入試に、農業高校枠があり、先生に勧められたことと、高校時代に販売活動を行い、マーケティングに興味を持ったからです。

●現在の大学を目標として決めたのはいつ頃ですか

▶ 高校3年の春

●今、大学でどのようなことを学んでいますか

▶ 農業経済学ユニットの内容では、基礎経済学や基礎経営学、統計学などを勉強しています。

その他、他のユニットの授業なのですが、家畜管理学や家畜栄養学、食品製造学などの授業も取っています。

●大学の学部、講義以外の活動はどのようなことをしていますか (大学内)

・学生起業団体 me+you (みーとゆー)

北海道十勝地域の農家さんの魅力を全国の消費者の方に伝えていくことで、生産者と消費者を繋ぐことを目的として活動している団体です。主な活動としては、アスパラ・トウモロコシ・ジャガイモといった野菜販売、帯広市のローカルラジオでの情報発信、SNSでの情報発信をしています。(HPは下記QRコード) 2022年1月から代表になる予定です。

その他、2年生から所属した熱気球サークルや受験生協力隊にも所属しています。



me+you ホームページ

●大学の学部、講義以外の活動はどのようなことをしていますか (大学外)

・たかすサークル

鷹栖町チャンネルで、YouTube 版ラジオ番組「あったかすラジオチャンネル」をやっています。

・CrossMentership

他者との交流を深めながら、自己形成していくプログラムに参加予定。

・朝渋(コミュニティ)

●私の学生生活(大学)ここがおすすめ!

▶1年生の前期の時に搾乳や畑作業、ソーセージ・アイスクリームの製造実習があります。他大学だと、学科は入試時に決めていると思うのですが、この大学はユニット制で、1年生の間に自分が学んでいきたい分野を考えて、2年生の時にその分野に進むことになります。農業が好きなら、楽しんで学べる大学だと思います!

●今、将来の目標、目指していることは何ですか

▶みーとゆーの活動がとても好きなので、野菜販売や農業の魅力を発信できるお仕事がしたいです!

●その将来の目標のために、努力していることを教えてください

▶農業を多方面からアプローチしていきたいと思っているので、1年生の後期の方に、HPやwebマーケティングの勉強をしていました。今は、みーとゆーとして、大学生の強みを活かして、何ができるか、どうしたら十勝地域の農業の魅力が伝わるか模索中です。

●大切にしている言葉があれば教えてください

▶「見たいと思う世界の変化にあなた自身がなりなさい」

—マハトマ・ガンジー

高校卒業時にお世話になった先生が寄せ書きに書いてくださった言葉です。



私が中学生の時はやりたいことも夢も特にありませんでした。やりたいことを見つけることもなかったです。人生どうなってもいいやと思ってました。でも、やりたいことはふとしたタイミングで見つかるものです。なので、今、自分が好きだな、楽しいな、頑張りたいなと思っていることを追及してみることが良いのかなあと思います。また、新しいことに飛び込んでみるのも良いと思います。友達と遊んでも、勉強しても、部活動に打ち込んでも、YouTubeを一日中見ても、良いです。一番大切なのは、自分が後悔しない選択をすることだと私は思います。

「たかすサークル」、どんなことをしているの?

サークルの活動は、定期的にLINEやzoomで連絡を取り合い、学生生活に役立つ情報交換をしながら、「こんなことをやってみたい!興味がある!」ことが出てきたら、実際にプロジェクトとして企画して実践してみる、ということをもットとしています。



【中学校のとき】

●好きな教科や部活動は何でしたか

▶英語と社会（特に地理）

余談ですが、中学3年の時の社会の先生は堀教頭先生でした。（10年前のことです笑）

部活動は帰宅部でしたが、プライベートでテニススクールに通っており硬式テニスをしていました。

●どんなことに夢中でしたか？

▶中学校時代は部活もしていなかったので夢中になったことは特にはないです。学校が終わって家に帰ってゲームしたり宿題していました。強いて言うならテニスのサーブでどれだけ速いサーブを打てるか気にしていたことでしょうか。。。

●中学校生活で印象に残っている出来事を教えてください

▶合唱コンクールや体育祭、球技大会といったクラス対抗のイベントです。朝練したり授業でいつも以上に真剣に練習したりしました。

●中学生の頃に考えていた将来の夢や目標、進学や就職に向けて取り組んでいたことについて教えてください

▶私自身、飛行機好きということもあり中学生の頃は航空管制官（飛行機に離着陸等の許可を出す仕事）になりたいと思っていました。そのためには航空保安大学校という学校に行つて勉強する必要があったのでぼんやりとですが将来は航空保安大学校にいけるようになりたいと思っていました。

【高校】

●高校名

▶旭川実業高校 普通科 特別進学コース

●どのような高校生活を送っていましたか？

▶特別進学コースに通っていたため勉強することが多い3年間でした。授業も平日は週4日7時間授業で土日も午前中まで授業がありハードでしたが、3年間学びの多い充実した期間でした。

●高校生活で印象に残っている出来事を教えてください

▶学校内の活動ではありませんが、高校1年の夏休みにホームステイでハワイに3週間滞在しました。帰国してからの模試で英語の成績が回数を重ねるごとによくなりました。やがて将来は海外の大学に進学しようと志を持つようになりました。

【高校や大学生生活全般】

●何か将来を考えるきっかけ、人生の転換点となったような出来事や出会いはありますか

▶皆さんにとっては少し先の話になりますが、高校卒業時にクラスメイトのほとんどが進学する中で、大学に行って勉強するというイメージが自分の中でありませんでした。「大学に行くなら自分が本当に勉強したいことを学びたい」今もそうですが当時もそのように考えていました。先述の通り海外の大学に行きたいと思っていましたが、それは憧れに過ぎず自分の英語ではまだそのレベルに達していないことや学びたいことがわからなかったので現役の年で大学に行くのを見合わせました。

そのかわりに自分の学びたいこと、やりたいことを探そうと思い19歳の時にボランティア活動に従事しました。任地は選べませんでしたがいギリスで2年間ボランティア活動を行いました。2年間日本語が通じない多民族国家イギリスで世界各国の様々な人と出会いや経験は、わたしの25年の人生の中でも大きなハイライトです。

21歳の時にボランティア活動を終え帰国し、改めて海外の大学に進学しようと思ひ準備を始めました。しかし準備を進める中で海外の大学に進学して何を学ぶかと考えた時に答えが見つかりませんでした。入学準備を進めながら1年ほどかけて答えが見つかるようにと模索しましたが、見つからず海外進学を断念しました。

逆に明確になってきたのは地元北海道への強い思い入れでした。イギリスにいた時、初対面の人に「日本から来ました」と自己紹介した時に「日本は素晴らしい国ですね」や「日本が好きです」などと日本に対して肯定的なことを言ってくれたり「コンニチワ」と日本語で話しかけてくれたりといったことが多々ありました。また、たまに北海道のことを話して写真とかを見せた時に「いい場所だね」や「いつか行ってみたい」などと言ってくれることもあり嬉しかったこともありました。そのような経験から自分は北海道が大好きなんだということに気づき北海道が素晴らしい場所であるということを世界中の人にもっと知ってもらいたいと思うようになり、そのためには北海道のことをもっと知る必要があると思ひ北海学園大学に進学することを決めました。

24歳になる年に大学に入学し現役で入学した同級生と比べ5年回り道をしましたが後悔は全くありません。他の人と違う生き方をしてきましたが、支えてくれた両親に感謝しています。

たかすサークルが実践しているプロジェクトはどんなもの？

「あったかす！ RADIO CHANNEL (YouTube)」です！

たかすサークルメンバーの3人が、「YouTubeで鷹栖町のことを発信したい！」と思ひたつてスタートした、鷹栖町 YouTube チャンネルで配信する、ラジオっぽい番組（動画）です。



●なぜ、現在の大学を選んで進学しましたか

▶ 地元北海道のことについて学べて、日中働きながら夜間に勉強できるので効率的と思い進学しました。

●現在の大学を目標として決めたのはいつ頃ですか

▶ 22 歳（2019 年）

●今、大学でどのようなことを学んでいますか

▶ 北海道における経済の特徴や歴史、経済学の歴史など、ゼミでは観光と交通に関して学んでいます。

●大学の学部、講義以外の活動はどのようなことをしていますか

▶ 学内では特に所属していません。学外では今年からあつかす Radio チャンネルのパーソナリティを担当しています。

●私の学生生活（大学）ここがおすすめ！

▶ 夜に講義があるので日中の時間を有効活用できます！アルバイトしたり少し遠くに出かけることもできます。（函館の湯の川温泉に日帰りで行ったこともあります笑）
北海学園大学の場合、夜間の大学は日中の大学と比べて学費が約半額でかつ 4 年で卒業できて同じレベルで勉強できるので経済的にもお得です！

●今、将来の目標、目指していることは何ですか

▶ 北海道の魅力を全国・世界に発信することに将来携わりたいと思っています。そのため就職する時は北海道の観光に関する企業に就職したいと思っています。

●その将来の目標のために、努力していることを教えてください

▶ まだまだ北海道のことについて知らないことや行ったことのない場所が多いので、調べたり余裕があるときは実際に出かけてみたりしています。

●大切にしている言葉があれば教えてください

▶ Follow your dreams. Just make sure to have fun too.

– Chris Brown –

（夢を追いかけよう。ただ楽しむのも忘れずにね。）

— 意識：南出喜祐一

何年か前にネット上で見つけた歌手の言葉ですが、夢を叶えるには楽しむことも必要というメッセージがとても心に残り今でも大切にしている言葉です。

私が中学 3 年生の時から 10 年が経ち、状況も様々異なっていることと思いますが、将来の自分が何をしたいかというところからイメージしていくと目標を達成するために何をすべきなのかわかってくると思います。そして、将来何をしたいのかまだよくわからなくても焦らないでください。マイペースというわけではありませんが、周りが目標に向かって歩みだしても自分は自分、他人は他人と思えるようになれば落ち込むこともないと思います。まわりに流されて進路を決めるよりも多少迷って自分で納得したうえで進路を決めるとでは大きな違いが生じて 5 年後、10 年後と見えてくる世界が変わってきます。



趣味で風景写真を撮ります。この写真は昨年のかかすフォトコンテスト 2020 でグランプリを受賞した写真です。ちなみに撮影場所は鷹栖地区と鷹栖中学校の間にある橋から撮影しました。



南出 喜祐 さん

- 平成 24 年 3 月卒業（25 歳）
- 北海学園大学 経済学部 2 部 地域経済学科 2 年

2021 年 5 月からスタートし、毎月 1 本のペースで「ほぼ 60 分」の番組を配信しています。メンバーがパーソナリティを務め、様々なゲストをお迎えしてのトークコーナーや、広報たかすからまちの出来事をピックアップして紹介するなど、まちのことを根掘り葉掘り深めながら、鷹栖町の魅力を発信しています！



【中学校のとき】

●好きな教科や部活動は何でしたか

- ▶ 教科：社会（中でも地理・公民）
- ▶ 部活動：クロスカントリースキー部（冬季）
男子バスケットボール部（夏季）

●どんなことに夢中でしたか？

▶ 生徒会活動とクロスカントリースキーにおいて何かしらの結果を残したいという思いがあったと思います。後にも述べますが、とにかく中学時代の同級生、後輩が素晴らしい成績を収めていたため、日々焦っていました。ジュニアオリンピックに部員6人中ただ1人出場することが出来なかったのはとても悔しい思い出です。しかしこの出来事が自分の行動を大きく変えることになったのは良いきっかけです。めっちゃ悔しかったですよ笑

●中学校生活で印象に残っている出来事を教えてください

▶ 毎朝、社会の堀先生（現在の教頭先生）と学校の廊下をモップがけしたことですかね（笑）あとはちょうど2年生の時に中学校が大規模改修に入ったことを覚えています。そうゆう意味では古い鷹栖中も新しい鷹栖中も両方経験しました。画期的だったのは教室に扇風機がついたことです（笑）

●中学生の頃に考えていた将来の夢や目標、進学や就職に向けて取り組んでいたことについて教えてください

▶ この頃の将来の夢は、鷹栖町役場（高卒）に就職することでした。当時は公務員模試の試験勉強をしたり、積極的に町の活動に参加するなどアクティブに動いていたのを覚えています。とにかく勉強が嫌いだったのでそれ以外の活動でなんとかカバーしようと必死だったと思います。ただ公務員一次試験というのはペーパーテストの結果が全ての世界なので勉強もかろうじて取り組んでいたと思います。

【高校】

●高校名

- ▶ 私立 旭川大学高等学校 普通科体育コース
（現在のスポーツ教育コース）
※読売ジャイアンツの沼田翔平投手と同じクラスでした

●どのような高校生活を送っていましたか？

▶ 部活動、生徒会の繰り返しでした。朝は6時に家を出て、22時に帰宅する生活を3年間ほぼ毎日していました。冬場はクロスカントリースキーのため1ヶ月以上学校に行かないことも多々ありました。

●高校生活で印象に残っている出来事を教えてください

▶ クロスカントリースキーで全国優勝したことです。高校時代は頭がおかしくなるくらいクロスカントリースキーに没頭していました。中学校の時に成績を残すことが出来なかった悔しさが心の中心に一番残っていました。先にも記載の通り、同級生や後輩は素晴らしい成績を残していましたから、自分だけ焦っていましたね。

結果的に全国優勝を2回経験することが出来ましたが、寝ても覚めても常にスキーのことで頭がいっぱい。休みは毎年4月のシーズンオフ時に月曜日のみでそれ以外はトレーニングの日々でした。ということは計算すると365日－4日（4月の月曜日）＝361日は部活だったということになります。今じゃ考えられないです（笑）

【高校や大学生生活全般】

●何か将来を考えるきっかけ、人生の転換点となったような出来事や出会いはありますか

▶ 私の人生を大きく変える出来事は、高校2年生の夏です。当時は高卒の公務員志望でしたから、試験勉強をしていたのは昨日のように思い出します。そんな中で通っていた高校と相性が合わなく（色々ありました）今の高校で卒業をしたくないと思ってしまいました。家族や学校側とも多くの面談を重ね、結果祖父母の家がある横浜に転校する事を決断しました。この時点で転校先の高校は3つに絞られ、あとはカリキュラムの関係上一致するかしないかというところまでいった矢先、高校のスキー部の先輩で早稲田大学でスキーを続けているある先輩が練習に来た際に、ここまでの一連の流れをお話ししました。すると、「もったいない、スキーを続ければ良い大学にも行ける。人生を考え直す時間もある。今の自分を見つめ直してみないか。今シーズン（高校2年生の冬）結果残せば大学からの推薦ももらえる」このように言っていただきました。これが私の人生の大きな転機です。自分を見つめ直し、スキーで結果を残し、大学に行こうと決意しました。今考えれば転校は逃げだったのかもしれないと思っています。そこからの日々は目標が明確になったためか、とても毎日が楽しかったです。スキーでも全国優勝を2度経験し、大学受験にも挑戦させてもらって、結果的に自分が第一志望であった学校、学部合格できたことはあの先輩の声かけがあったからだと思っています。感謝してもしきれません。みなさんも人との出会いを大切にしてください。きっと明るい未来が待っています！



伊藤 玲緒 さん

■平成28年3月卒業（21歳）

■慶應義塾大学 総合政策学部 3年

●なぜ、現在の大学を選んで進学しましたか

▶自身の研究分野の対象である、まちづくり、地方活性化の分野を学ぶにあたって、共に研究したい教授がいたのとクロスカントリースキーの活動ができる環境の双方が揃っていたためです。共に学びたいというのは、慶應義塾の考え方の一つにあたる「半学半教」という精神があります。これは教員も生徒から学び、生徒も教員から学ぶという一つの考え方で、また自由で伸び伸びと周囲の刺激を受けながら成長できる環境に身を置きたかったことも挙げられます。

●現在の大学を目標として決めたのはいつ頃ですか

▶高校2年生の夏休み前(2017年)

●今、大学でどのようなことを学んでいますか

▶私の専門・研究分野は、まちづくりです。まちづくりには様々な言葉があります。地域活性化、地方創生、関係人口、地域再生、域学連携などです。大学での講義内容は幅広く、まちづくりに関する分野はもちろんのこと、経営や語学、地球科学など世の中を取り巻くさまざまな分野を履修することができることから、多角的な視点で日々の講義に臨んでいます。

●大学の学部、講義以外の活動はどのようなことをしていますか

<飯盛研究会所属>

- ・大井町元気プロジェクト(東京都品川区大井町)
FMしながわとのコラボで「みらいの大井町をつくる・ラボ」の生放送
- ・FM桐生プロジェクト(群馬県桐生市)
FM桐生とのコラボで業界のトップランナーの方にお話を伺う番組
- ・唐津プロジェクト(佐賀県唐津市)
地元の高校生と教育について考える

<個人活動>

- ・たかすサークル(北海道鷹栖町)
YouTubeの鷹栖町チャンネルを通じて、あったかラジオチャンネルの放送
- ・東川町スポーツアンバサダー(北海道東川町)
Cross-country Spirits in ひがしかわ
小中学生向けのスポーツイベントの開催
- ・慶應義塾体育会スキー部所属
- ・Diversity in ASIA(国際平和映像祭受賞作品)
アジアの多様性に向き合う映画祭の企画と開催



私も21年間の人生で紆余曲折、たくさん経験しました。その中でいつも大事にしていたのは自分自身です。自分という大きな大黒柱に自信を持って周りに左右されずに、自分のやりたいと思うことを本気で考えてください。そしてそれを達成するためには、自分自身何をすべきかよく考えて行動してください。遠回りをしたって良いんです。自分のやりたいことにたどり着くことができるのであれば、手段はなんだったって良いのです。できないことなんて存在しません。全てを決めるのは自分の気持ちです。諦めることは簡単です。どんな逆境にでも耐えられる強い人間になってください。それが社会に出て必ず役に立つと私は信じています。

●私の学生生活(大学)ここがおすすめ!

▶やりたいと思ったことが実現できることです。私の学部のコンセプトは「未来からの留学生」を養成する学部です。21世紀の答えのない社会課題に対して、自ら問題を発見し解決するための糸口を探して実践していく場所が提供されています。授業で学び、自らフィールドに出て実践知を広げていくことは、学びの醍醐味です。在籍している学部では、ただ単に黒板やPCと睨めっこする生活ではなく、実践のフィールドに立って、思い切ってやりたいことをすることができる場所です。(以下詳しく)また分野が違う仲間、様々なバックグラウンドを持つ仲間と時間を共有することで、多角的な視点で考える力が生まれて、日々勉強になっています。

私の在籍する慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)は総合政策学部と環境情報学部の2つの学部から成り立っています。それぞれの特徴を聞かれるととても答えるのは難しいのですが、「とにかく何でもできる学部です」というのが私の答えです。自分自身のやりたいと思ったことがスタートラインでそこから必要とする講義を自らが組み合わせて学びをしていきます。全ては自分次第といったところになってしまいますが、自由な点というところはそのようなことです。その環境を有効に活用し、SFC出身の先輩方は日本のみならず世界で活躍されています。そのような先輩からの貴重なアドバイスは大変勉強になっています。

●今、将来の目標、目指していることは何ですか

▶テレビ局のアナウンサーと鷹栖町でのまちづくり

●その将来の目標のために、努力していることを教えてください

▶テレビ朝日アスク(アナウンススクール)に通っています。現在はアナウンススクールの主将として2000人の仲間と共に切磋琢磨勉強しています。またこれからの時代は職業一つだけでは生き残っていけないと私は考えているため、自分の強みであるまちづくりに対しても様々な活動を行い、将来的にアナウンサーはもちろんのこと、まちづくりの分野でも貢献したいと考えています。テレビ業界はこれから衰退していく予想がされています。テレビ離れやAIに登場によって厳しくなることは事実です。一方でまちづくりは、地域に人がいる限りなくなるものではないと考えているため、自分自身の片手に強みを握っておきたいと思っています。

●大切にしている言葉があれば教えてください

▶「忙しき日々には幸多きある」

忙しければ忙しいほど、多くの幸せがあります by 伊藤玲緒

どうやったら

「たかすサークル」に
入れる?

「オンライン通信環境」と「たかす愛」があれば、どなたでも参加大歓迎!一緒に活動してくれるメンバーを絶賛募集中です!家族やお知り合いの方に大学生世代の方がいらっしゃったら、ぜひPRして下さると嬉しいです!

【中学校のとき】

●好きな教科や部活動は何でしたか

- ▶好きな教科：理科
- ▶部活動：男子バスケットボール部

●どんなことに夢中でしたか？

- ▶いかに効率よく勉強を終わらせて、自由な時間を作るか。

●中学校生活で印象に残っている出来事を教えてください

- ▶特に印象的ということはなく、日常が楽しかった思い出です。

●中学生の頃に考えていた将来の夢や目標、進学や就職に向けて取り組んでいたことについて教えてください

- ▶中学校の時はとりあえず教師になりたいなーと考えていました。進学に向けては日々の授業にしっかり取り組むことだけを意識していました。

【高校】

●高校名

- ▶旭川東高校

●どのような高校生活を送っていましたか？

- ▶部活中心

●高校生活で印象に残っている出来事を教えてください

- ▶インターハイに出場できたこと

【高校や大学生生活全般】

●何か将来を考えるきっかけ、人生の転換点となったような出来事や出会いはありますか

- ▶陸上競技というものに出会ったのは大きかったです。部活の顧問の先生に教育系は向いているんじゃないかといわれたことで教育大学を受験するきっかけになりました。

●なぜ、現在の大学を選んで進学しましたか

- ▶以前から教育に関わる仕事に興味を持っていて、教育に関わることを学ぶなら教育大学と思い選びました。

●現在の大学を目標として決めたのはいつ頃ですか

- ▶高校3年の時

●今、大学でどのようなことを学んでいますか

- ▶学校で教師として働くために必要な知識や、実習などで経験をして現場で活躍できるようになるためのこと。

●大学の学部、講義以外の活動はどのようなことをしていますか

- ▶陸上競技部

●私の学生生活（大学）ここがおすすめ！

- ▶教師を強く志望している人なら、教師になるための学びができる（逆に言うとそれ以外はほとんど学べないが）ので夢ははっきりしている人にはお勧めできます。周りの学生もみんな教師志望の人が多く、ともに努力することができます。

●今、将来の目標、目指していることは何ですか（仕事や活動）

- ▶教師（国家一般職も視野に入れてます）

●その将来の目標のために、努力していることを教えてください

- ▶特定の分野の深い知識に加えて、幅広い分野の知識を少しでもいいから興味を持って知るようにしています。

●大切にしている言葉があれば教えてください

- ▶「本気」どんなことでも本気でやらなければ成功しないし、本気じゃなければ楽しくないし応援してもらえない。部活でも勉強でも遊びでもいいから本気で向き合う経験を大事にするといいと思います。

「自分はこれが好き、
「自分はこれが得意」といえるものをどんなものでもいいから持っておくと、進路を考へたりするときに役に立つと思います。勉強も大事ですが、それ以外にも自分の武器にできるものは身の回りにいろいろあると思います。なんでもいいので本気で取り組んでみてください。



栗林 碧人 さん

- 平成 28 年 3 月卒業（20 歳）
- 北海道教育大学旭川校
理科教育専攻 3 年

QR コードから「たかすサークル」入会のお申し込みができます！

